

東陽中学校区学校園から

茶屋町小学校

茶屋町小学校は、現在の全校児童数が1096名で、倉敷市内では規模の大きい小学校です。6年間を過ごしていく中で、先生や地域の方々など身近な大人との関わり、友達との関わりなど様々な人との関わりを通して、望ましい人間関係の築き方を身に付けていってほしいと願っています。



生活科「まちたんけん」



航空写真撮影



運動会



ミシンボランティア

朝のあいさつ運動や草取りボランティア・読み聞かせボランティア・ミシンボランティアなど、たくさんの保護者や地域の方々にご協力をいただき、感謝しております。また今年度、茶屋町小学校は創立150周年という節目の年を迎え、様々な記念行事が行われました。何世代にもわたる地域の方々に支えられて成長しているということ、そして自分もその地域の一員であるということを実感しながら、茶屋町を愛し、茶屋町をよりよくしていく児童



女子バレー石井優希先輩のトークイベント

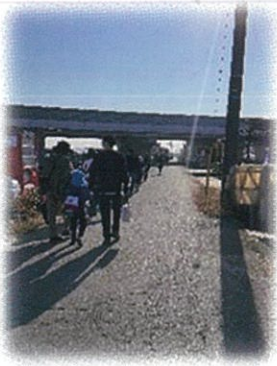


朝の読み聞かせ

を育てていきたいと思えます。今後も、地域の方々に愛される茶屋町小学校を目指し、様々な教育活動を地域の方々と共に行って参りたいと思えます。ご理解とご協力をお願いします。

豊洲保育園は、現在0歳児から5歳児までの乳幼児が105名在籍しています。コロナ禍が明けたとはいえ、今年はインフルエンザ等が猛威を振るい、日頃からの感染予防を大切にしながら園内の保育や行事を行っております。

今年度は3年ぶりに4・5歳児が親子遠足を西田公園にて行い、親子や異年齢児と触れ合うことができました。〇×クイズのコーナーでは、保育園クイズや食品ロスクイズ、また、人権をテーマにしたクイズも行いました。「人との違いを認める」「外国の人を受け入れる」「好みの違いを知る」について友達や保護者の方と考えながら回答していました。



豊洲保育園

園内で生活する様々な場面で人権を考える機会があります。私たち保育士は、機会を捉え、一人ひとりの思いを大切にしながら日々の保育を行い、子どもの人権について心にとめながら丁寧な保育を心がけています。乳幼児から自分の思いを大切に、愛された経験は、子どもたちの心の根っこに残り、自分も人も大切にできるようになるものだと考えております。

これからも子どもの思いを大切に、地域の皆様に見守られて、成長できる保育園となるよう努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。



第56号 人権だより

ぬくもい



令和6年2月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315

東陽中学校区人権学習推進委員会 研修視察

児童養護施設悲眼院 高橋昌文代表の講演
笠岡バイファーム・井原市立平櫛田中美術館の見学
令和5年9月3日(日)

<「悲眼院」高橋昌文代表の講演>



<参加者のご感想(抜粋)>

今日は大変有意義な一日でした。計画してくださった方々、ありがとうございました。

悲眼院の高橋先生の講演は、心を打つ素晴らしいお話でした。先生のお人柄からして、本当に子どもたちと一緒に取り組まれている様子に感激です。これからも子どもたちに向き合ってください。

悲眼院の方のお話が興味深かった。自分の思いを伝えにくく、つらい思いをしてきた子どもたちにどのように接してこられたのだろうか。我が子でも難しいのに、長年暮らして見守るのは、大変なことだろう。実行は難しい。仕事と割り切れないだろうし、指導員のお話も聞いてみたい気がする。子どもと接する時の参考にしていきたいです。

研修視察は、19名の参加で実施しました。

まず、笠岡市児童養護施設「悲眼院」の高橋昌文代表のご講演を、サンライフ笠岡を会場としてお聞きしました。児童養護施設は、様々な課題を抱えた子どもの自立を援助する施設です。昭和45年ごろから不登校の子どもへの対応が増えたそうですが、集団で生活することで、自覚ができて学校に行けるケースが多くあるとのことでした。様々なタイプの子どもの合わせた対応をすることを大切にしておられるそうです。また、日本で最初に孤児院を創設した石井十次以来の、施設で養育するという悲眼院の在り方と、里親制度の違いについても伺いました。

昼食を取り、笠岡バイファームを見学した後は、井原市の平櫛田中美術館を訪れました。令和5年4月18日にリニューアルしたばかりの美術館です。平櫛田中は井原市出身で、107歳まで活躍した彫刻家です。代表作は彩色木彫の「鏡獅子」です。最晩年まで制作を続けられた芸術家としてのすばらしいエネルギーに触れることができました。

<平櫛田中美術館>



人権相談・行政相談

お気軽にご相談ください。
茶屋町支所にて毎月第2水曜日 9:00~11:00

文化祭 ～感動と笑顔が広がる文化祭～

令和5年11月4日(土)～11月5日(日)

普段、茶屋町公民館で活動されているグループや公民館講座、コミュニティー協議会、環境衛生協議会そして、東陽中学校区の学校園のみなさんが、心を込めて作った作品を展示したり、練習の成果をステージで発表したりとそれぞれ大活躍でした。

展示もステージ発表も、大変レベルの高い文化祭となりました。ご観覧の皆様も含め、ご協力ありがとうございました。



公民館の仕事を体験しました！

～小学生・中学生・大学生～

新型コロナの影響から、十分に実施できなかった、茶屋町小学校2年生の町たんけん、東陽中学校2年生のチャレンジワーク、大学生の社会教育実習が以前のような形で実施できました。それぞれの年代が、それぞれの感性をもって公民館の業務を実体験しました。

【大学生の感想】

現在、地域のつながりは減ってきていると言われていますが、公民館では地域の人がつながり、対話する様子がとても多く見られました。公民館は地域の人がつながるきっかけを作ってくれる存在であるべきだと改めて感じました。

【中学生の感想】

特に最終日でのケーキ作りの体験では、人と関わることの大切さがわかったような気がしました。今回体験させてもらったケーキ作りをするにしても、お客様が気持ちよく利用するには、きれいで清潔な環境を作ることが大切だと学びました。

【小学生の感想】

こうみんかんで、おべんきょうをしたり、うんどうをしたり、いろんなことをすることがわかりました。こうみんかんは、ひなばしょになっているのをはじめてしりました。

東陽中学校2年生の
チャレンジワーク



人権週間

令和5年12月4日(月)～12月10日(日)

～児童生徒による作品(ポスター・標語・書道)を展示しました～

12月4日(月)から12月10日(日)までは、人権週間でした。茶屋町公民館では、豊洲小学校、茶屋町小学校、東陽中学校の児童生徒による人権ポスター、人権標語、書道を展示しました。どの作品も人権への思いが込められた、温かい作品でした。ご協力ありがとうございました。



入選作品



東陽中学校 作品



茶屋町小学校 作品



豊洲小学校 作品

東陽中学校人権宣言 (いじめ撲滅宣言)

3-1	いじめ防止につながる ABC A…あいをもって平等に B…ばかにしない C…クラスにしよう
3-2	みんなで守ろう 友達の笑顔
3-3	言葉はナイフよりも鋭く ハンマーよりも重く
3-4	いじりといじめは紙一重
3-5	言葉選びを大切に 命を奪うその一言
3-6	みんなのことを思いやり 心の声を聞き逃さず みんなでつこう 笑顔あふれる 明るいクラス
3-7	なくそういじめ 増やそう笑顔
3-8	いじめをせずに 目指そう明るい未来を
9組	自分がされていやなことを 他の人にはしません 明るく元気な優しさ いっぱいのクラスにします
10組	「話し言葉に気を付けて いじめなしのクラスにします」
11組	人の個性の違いを認め、心の距離を考え、人の心を遊ばに使いません
12組	「走り続ける 楽しく安心して 笑い合えるクラスへ」